

ドイツ語学科		准教授	D. 藤澤	大学院の授業担当 無
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1				
2				
3				
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	『Die deutschsprachigen Länder, was man dort isst und vieles mehr. Bremen』	2013年～	ドイツ語圏の地域研究のための教材で、文化的な情報や演習問題が含まれています。地誌学に関連するオンライン教材制作、出版(問題用紙等) https://www.hueber.de/media/36/H12-Bremen-Teil1.pdf https://www.hueber.de/media/36/H12-Bremen-Teil2.pdf https://www.hueber.de/sixcms/media.php/36/H12-Bremen-Teil3.pdf	
2	『Die deutschsprachigen Länder, was man dort isst und vieles mehr. Saarland.』	2013年～	ドイツ語圏の地域研究のための教材で、文化的な情報や演習問題が含まれています。地誌学に関連するオンライン教材制作、出版(問題用紙等) https://www.hueber.de/media/36/H12-Saarland-Dibbeldabbes.pdf	
3	『DeKoJa』	2019年～	韓国と日本における外国語としてのドイツ語の授業での音声学の教材 https://phonetikdekoja.com	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1	「Der 9. November 1989 – Didaktisierung des Erinnerungsortes nach dem Kulturwissenschaftlichen Ansatz」	2017年～□	「記憶の場所」はベルリンの壁崩壊の際に、各々が過ごした場所についてのインタビュー調査を扱った学習です。この論文では、文化科学の本質的な意味を吟味し、その観点に基づいて「記憶の場所」を用いた学習を分析し、外国語としてのドイツ語教育における文化科学的な地域研究分野での有用性と可能性を示します。	
2	「Phonetische Bewusstheit durch Visualisierung im Deutsch-als-Fremdsprache-Unterricht in Japan」	2019年～□	発音の意識や、視覚化によって発音を認識することは外国語教育において重要なことです。個々の音、アクセント、イントネーションを図や写真、ビデオなどで表現し、視覚化することで、学習者がより効率的に発音トレーニングをすることができます。	
3	「DeKoJa – Lehrmaterialien zur Phonetik für den DaF-Unterricht in Korea und Japan」	2019年～□	日本語または韓国語を母国語とする学習者はドイツ語の発音に関する課題となる点が似ているため、発音や聞き取りのトレーニングの教材を2国で有効的に行えるように作られています。教科書のテーマに沿った本格的なリスニングテキストや練習問題がDeKoJaのホームページで公開されます。発音練習のデータベースは、後日、他の言語グループにも拡大される予定です。	

ドイツ語学科	准教授	D. 藤澤	大学院の授業担当 無
4 その他教育活動上特記すべき事項			
1			
2			
3			
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)			
年月日		活動内容	
その他			